

平成 26 年 2 月 13 日

関係機関 各位

特定非営利活動法人 東京ソテリア
代表理事 野口 博文

精神科病棟の閉鎖、これからの地域精神保健福祉はどうあるべきか！？
ー精神保健福祉 意見交換会のご案内ー

余寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、下記のとおり精神保健福祉 意見交換会を開催させていただきますのでご案内申し上げます。
意見交換会は、江戸川区内の精神科病棟の閉鎖にあたり、精神科医療・保健福祉従事者、行政、家族の方々にご参集いただき、地域の精神科医療・保健福祉に何ができるか、どうあるとよいか、それぞれの想いや意見をお互いに話し合っていくことを目的とします。

また、精神科病床の削減や ACT（包括型地域生活支援プログラム）の立ち上げなどを実践した精神保健関係者をゲストにお迎えし、先駆的な地域の取り組みを知る機会にもなればと考えています。

この意見交換会を通して、参加された皆さまが、今後どのような役割にどのように取り組めるかを、一緒に考え持ち帰ることのできる場にしたいと、ご参加をお待ちしております。

記

- 日 時：平成 26 年 3 月 24 日(月) 18:00～20:00
- 場 所：タワーホール船堀 4 階研修室（東京都江戸川区船堀 4-1-1 ☎03-5676-2211）
- 内 容：「入院医療から地域生活へ」
 - ・ 地域で生活する精神障害者を支える医療と保健福祉の機能とは
 - ・ 医療と保健福祉が互いに支え合うシステムはどうあると良いか
 - ・ 保健福祉施設が医療機関と連携して果たす役割は？
 - ・ 江戸川区でこれから創設されるべき資源は？こうした課題を一緒に考えたいと思います。
- 討 論：村上 健（村上病院）
那谷香織（地域活動支援センター えどがわ）
家族会・行政
[ゲスト] 大熊 一夫（ジャーナリスト「精神病院を捨てたイタリア 捨てない日本」）
吉田 光爾（国立精神・神経医療研究センター）
久永 文恵（地域精神保健福祉機構：コンボ）
櫻井 孝二（旭中央病院） ほか
- 申込み：定員 40 人（参加費無料）
3 月 7 日（金）までに、以下あてにお電話または E-mail をお願いします。
※定員に限りがあり、お申込み順（先着）に受け付けさせていただきます。

以上

本件に関するお申込み：地域活動支援センターはるえ野

☎03-5664-6070 ✉info@soteria.jp （担当：村上まで）